

# トラノコ・ファンド I

## 愛称：小トラ KO-TORA



### 追加型投信／内外／資産複合

第9期

決算日：2026年3月23日

作成対象期間

2025年3月22日～2026年3月23日

第9期末（2026年3月23日）	
基準価額	12,238円
純資産総額	205百万円
騰落率	7.7%
当期分配金合計（税引前）	0円

(注) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「トラノコ・ファンド I 愛称：小トラ」は2026年3月23日に第9期決算を行いました。当ファンドは、様々な資産クラスに対して分散投資を行い、リスクを抑えることを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、安定したリターンを獲得を目指した運用を行っています。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

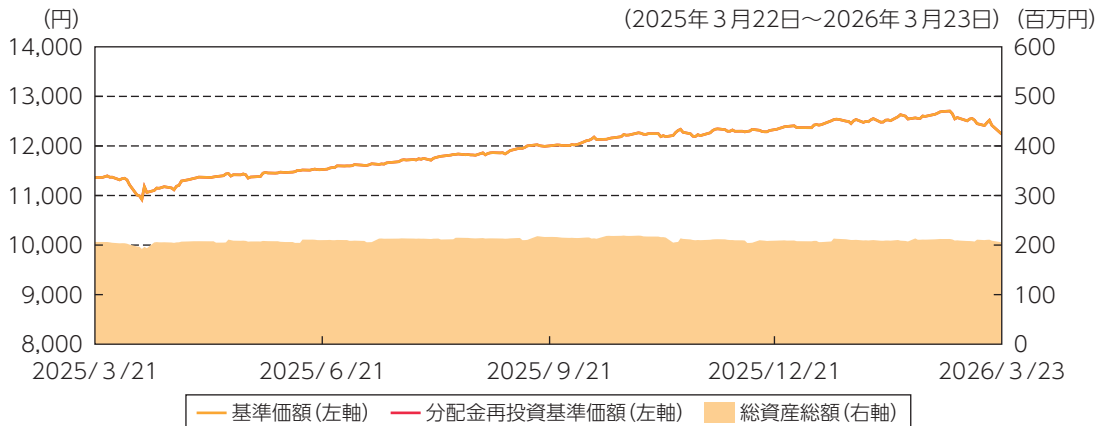
- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド情報」において閲覧およびダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

TORANOTEC  
ASSET MANAGEMENT



運用経過

期中の基準価額等の推移



第9期首：11,363円

第9期末：12,238円（当期分配金0円（税引前））

騰落率： 7.7%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 当ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

「基準価額」って？

ファンドの値段のことを基準価額といいます。また取引を行う際の単位があり、それを「口（くち）」と呼びます。1口=1円からスタートし、その後、運用の成果により変動します。当ファンドを含む多くのファンドは1万口当たりの基準価額を公表しています。

## 基準価額の主な変動要因

当ファンドの当期末基準価額は12,238円、前期末から875円のプラスとなりました。2025年度を通して、主な変動要因となったのは株式市場の動向でした。米国株式市場は政治的リスクやAIを巡る懸念などがありましたが、FRBの金融緩和と堅調な企業業績がそれを上回り、結果的に堅調となりました。また、日本株式市場も高市早苗氏が新首相となり、その景気刺激策に期待が集まり大幅に上昇しました。

### (上昇要因)

- ・ 株式市場、REIT市場、コモディティ市場の上昇。ドル高によるドル建て資産価値の押し上げ。

### (下落要因)

- ・ 一部の債券銘柄の下落。

## 1万口当たりの費用明細

(2025年3月22日～2026年3月23日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 40	% 0.332	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、11,962円です。
(投信会社)	(33)	(0.277)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等各種書類の作成等の対価
(販売会社)	(－)	(－)	運用報告書等各種書類の交付、取引口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(7)	(0.055)	ファンド財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.033	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(4)	(0.033)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	36	0.302	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(23)	(0.189)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(13)	(0.110)	・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、弁護士費用、法定提出書類の作成等に要する費用
(その他)	(0)	(0.003)	・信託事務の処理に要する費用
合計	80	0.667	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

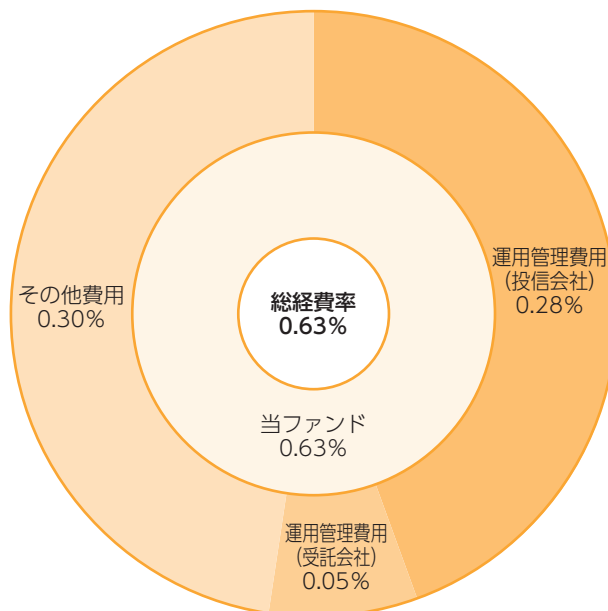
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

**(参考情報)****○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.63%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

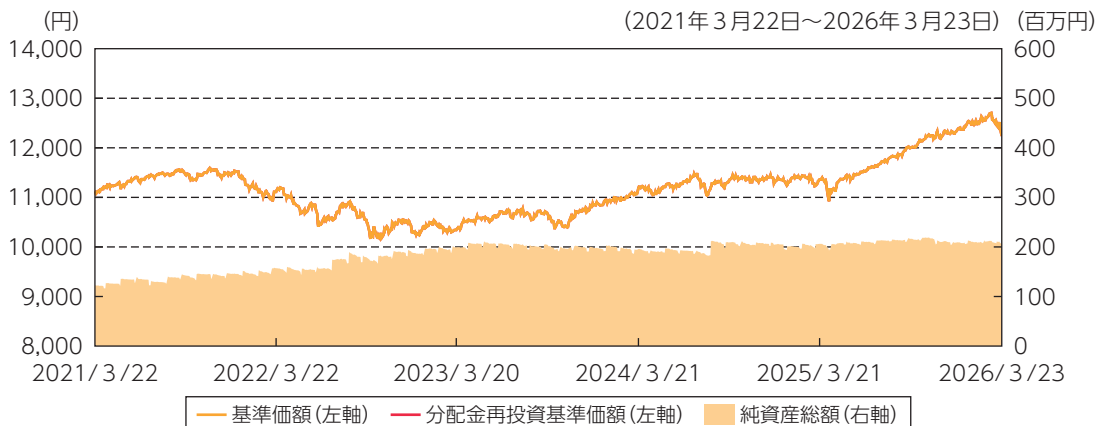
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 当ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示していません。

決算日		2021年3月22日 決算日	2022年3月22日 決算日	2023年3月20日 決算日	2024年3月21日 決算日	2025年3月21日 決算日	2026年3月23日 決算日
基準価額	(円)	11,084	11,112	10,341	11,190	11,363	12,238
期間分配金合計（税引前）	(円)	0	0	0	0	0	0
分配金再投資騰落率	(%)	20.0	0.3	△6.9	8.2	1.5	7.7
純資産総額	(百万円)	122	156	199	195	206	205

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## 投資環境

(2025年3月22日～2026年3月23日)

### <株式市場>

米国株式市場は政治的リスクやAIを巡る懸念などがありましたが、FRBの金融緩和と堅調な企業業績がそれを上回り、結果的に堅調となりました。また、日本株式市場も高市早苗氏が新首相となり、その景気刺激策に期待が集まり大幅に上昇しました。

### <債券市場>

FRBの利下げに合わせて長期金利が下落し債券価格が上昇する展開となりました。ただ、経済指標動向の影響でインフレ懸念が再び広がったこともあって、通期では小幅上昇に留まりました。

### <REIT>

全体として、世界的な金利低下の流れと貸貸市況の回復などから上昇しました。セクター別では、高齢化社会の需要を背景にヘルスケア関連のREITが好調でした。また、住宅関連REITも供給不足による賃料上昇が続き堅調となりました。ただ、オフィス関連REITは、リモートワークの定着などから難しい局面が続きました。

### <商品市場>

ゴールド市場は、比較される長期金利が低下し、地政学リスクの増加などが加味されたため、ドル建てゴールド価格は1オンス当たり3,000ドル付近から一時5,000ドルを超える大幅な上昇となりました。一方で、原油市場は原油需要の減少から60ドル台で推移していましたが、当期末に米イラン紛争が始まると一時100ドルを超えるなど大幅に上昇しました。

### <為替>

ドル円市場は、米長期金利低下と日長期金利上昇で二国間金利差の縮小が見込まれていましたが、さほど進展しなかったことから、150円付近から160円付近へと大きくドル高円安となりました。

## 当ファンドの運用経過と結果

(2025年3月22日～2026年3月23日)

当ファンドは、トラノコ・マザーファンド I を通じて、世界各国の上場投資信託証券 (ETF) 等に投資しました。価格の振れ幅 (リスク・リターン) に特に注目して運用されるこのマザーファンドは、大トラや中トラのマザーファンドに比べてリスクを抑えるように計算されたモデルポートフォリオに従って運用されています。

また、為替リスクに関しては、米ドル建ての実質的外貨建て資産に対して、期中に複数回ヘッジ比率の増減調整を行いました。ヘッジ部分は為替変動リスクが低減されますが、期末現在のヘッジ比率は86.3%です。

今期の結果として、債券市場の一部銘柄を除いて概ね上昇したため、小トラも上昇となりました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年3月22日～2026年3月23日)

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

## 分配金

(2025年3月22日～2026年3月23日)

中長期的な市場見通し等から複利効果を最大限に享受していただくことが最善であると判断し、当期は分配を見合わせました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第9期
	2025年3月22日～2026年3月23日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,346

(注) 対基準価額比率は、当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。  
 (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

主として親投資信託である「トラノコ・マザーファンド I」に投資し、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。

「トラノコ・マザーファンド I」

引き続き、運用の基本方針に従い、リスクを抑えることを重視した最適ポートフォリオを構築することにより、安定したリターンの獲得を目指した運用を行います。

## お知らせ

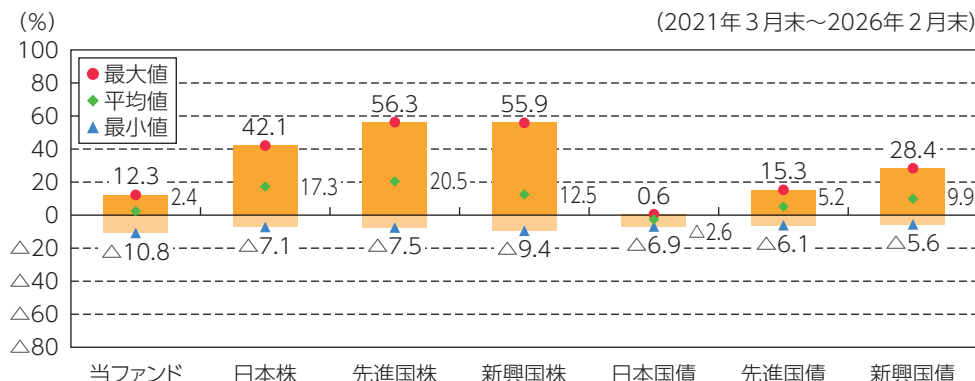
一般社団法人日本投資顧問業協会および一般社団法人投資信託協会が合併し「一般社団法人資産運用業協会」に名称変更されたことに伴い、2026年4月1日付で投資信託約款に所要の変更を行いました。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	<p>◆ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）に投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。</p> <p>◆マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>◆マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して50%～100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>◆外国為替予約取引は、ヘッジ目的に限定します。</p>
主要投資対象	親投資信託である「トラノコ・マザーファンド I」
運用方法	<p>①マザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）される上場投資信託証券（以下「ETF」といいます。）および上場指標連動証券（以下「ETN」といいます。）に投資することにより、主として国内外の株式、債券、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、金利等に投資します。</p> <p>②マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③マザーファンドにおいて、原則として、米ドル建ての実質的外貨建資産に対して50%～100%の範囲で、適時、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。</p> <p>④資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合もあります。</p>
分配方針	<p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託会社が、信託財産の成長に資することを目的に、上記①の範囲内で、基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。従って、必ず分配を行うものではありません。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p> <p>※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>

(参考情報)

当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注) 上記グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注) 全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

(注) 上記グラフは、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値について表示したものです。

出所：Bloombergのデータを基にTORANOTEC投信投資顧問（株）が作成。

<各資産クラスの指数>

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…ダウ・ジョーンズ先進国市場インデックス（円ベース）

新興国株…ダウ・ジョーンズ新興国市場インデックス（円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…FTSE新興国市場米ドル建てソブリン債券インデックス（円ベース）

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）（以下「配当込みTOPIX」といいます。）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。

配当込みTOPIXの指数値および配当込みTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、配当込みTOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は J P X に帰属します。株式会社 J P X 総研は、配当込みTOPIXの指数値およびそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではありません。また、配当込みTOPIXの算出、公表方法の変更、公表の停止または配当込みTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

●ダウ・ジョーンズ先進国市場インデックスとは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。

●ダウ・ジョーンズ新興国市場インデックスとは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発した株価指数で、世界的新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスに帰属します。

●NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「NFRIC」といいます。）が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI国債はNFRICの知的財産であり、ファンドの運用成果に関し、NFRICは一切関係ありません。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRICに帰属します。

●FTSE世界国債インデックスとは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●FTSE新興国市場米ドル建てソブリン債券インデックスとは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2026年3月23日現在)

#### 組入ファンド

	銘柄名	組入比率
1	トラノコ・マザーファンド I	97.8%
	組入銘柄数	1銘柄

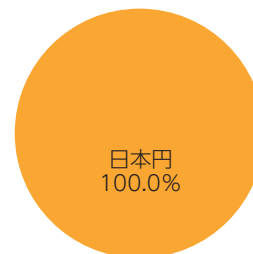
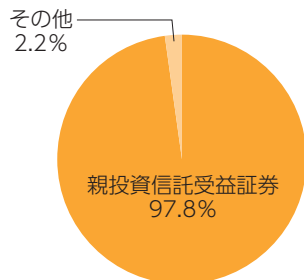
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入ファンドに関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

#### 資産別配分

#### 国別配分

#### 通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注) その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

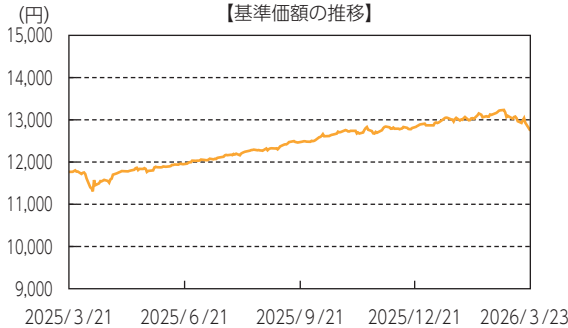
### 純資産等

項目	第9期末
	2026年3月23日
純資産総額	205,556,651円
受益権総口数	167,963,012口
1万口当たり基準価額	12,238円

(注) 当期中における追加設定元本額は66,705,392円、同解約元本額は80,261,593円です。

## 組入上位ファンドの概要

### トラノコ・マザーファンド I



【1万口当たりの費用明細】

項目	当期	
	2025/3/22	2026/3/23
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	4円 ( 4)	0.034% (0.034)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 ( 0)	0.000 (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	24 (24) ( 0)	0.196 (0.193) (0.003)
合計	28	0.230
期中の平均基準価額	12,427円	

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。  
 (注) 上記項目の概要につきましては3ページを参照ください。

【為替ヘッジ比率】

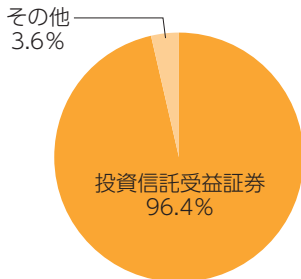
比率 (対米ドル建資産)	86.3%
--------------	-------

【組入上位10ファンド】

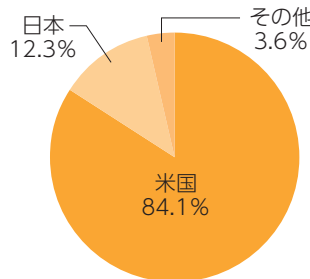
	銘柄名	投資対象資産	通貨	国(地域)	比率(%)
1	Vanguard Short-Term Corporate Bond ETF	債券	米ドル	米国	19.6
2	VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	債券	米ドル	全世界	19.5
3	VANGUARD S&P 500 ETF	株式	米ドル	米国	11.9
4	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE	債券	米ドル	米国	9.8
5	SCHWAB U.S. TIPS ETF	債券	米ドル	米国	9.8
6	TOP I X 連動型上場投資信託	株式	日本円	日本	7.9
7	VANGUARD EMERGING MARKETS GOV BOND ETF	債券	米ドル	新興国	4.8
8	NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	REIT	日本円	日本	4.4
9	ISHARES GOLD TRUST	コモディティ	米ドル	米国	4.4
10	VANGUARD FTSE EUROPE ETF	株式	米ドル	欧州	2.8
組入ファンド数		11銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。  
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載しています。  
 (注) 国(地域)については発行国もしくは投資国を表示しています。

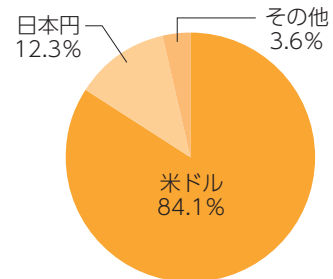
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



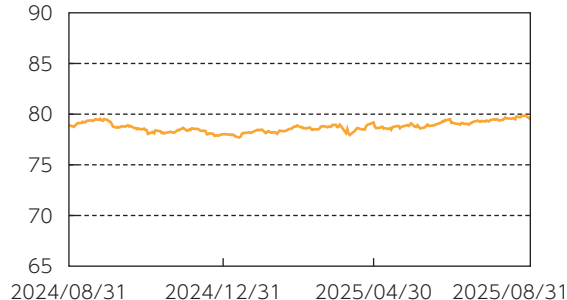
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。  
 (注) 比率は小数点第二位を四捨五入して算出しております。そのため、各円グラフの値と一致しない場合があります。  
 (注) 国別配分については発行国を表示しています。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明、組入銘柄に関する詳細な情報等は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## <ご参考> Vanguard Short-Term Corporate Bond Index Fund

※Vanguard Inc.作成のANNUAL REPORTを基に、TORANOTEC投信投資顧問（株）が作成しています。

【1口当たりの純資産価額の推移】（2024年8月31日～2025年8月31日）  
 (米ドル)



2024/08/31 2024/12/31 2025/04/30 2025/08/31

※1口当たりの純資産価額は分配金調整後の価額です。

【費用比率】

(2024年9月1日～2025年8月31日)

項目	比率 (%)
エクスペンスレシオ	0.03

(注) エクスペンスレシオは、当期中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

### Portfolio Composition % of Net Assets (as of August 31, 2025)

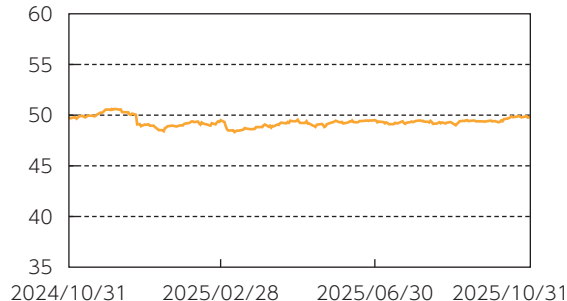
Communications	4.2%
Consumer Discretionary	7.2%
Consumer Staples	5.7%
Energy	5.6%
Financials	38.6%
Health Care	8.4%
Industrials	6.8%
Materials	2.3%
Real Estate	4.2%
Technology	7.9%
Utilities	6.6%
U.S. Government and Agency Obligations	1.1%
Other Assets and Liabilities—Net	1.4%

**This table reflects the Fund's investments, including short-term investments, derivatives and other assets and liabilities.**

## <ご参考> Vanguard Total International Bond Index Fund

※Vanguard Inc.作成のANNUAL REPORTを基に、TORANOTEC投信投資顧問（株）が作成しています。

【1口当たりの純資産価額の推移】（2024年10月31日～2025年10月31日）  
 (米ドル)



※1口当たりの純資産価額は分配金調整後の価額です。

【費用比率】

(2024年11月1日～2025年10月31日)

項目	比率 (%)
エクスペンスレシオ	0.07

(注) エクスペンスレシオは、当期中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

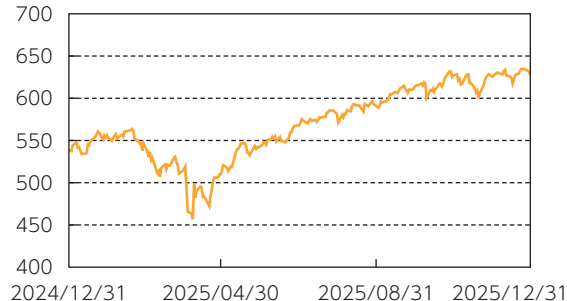
Portfolio Composition % of Net Assets (as of October 31, 2025)	
Africa	0.0%
Asia	19.1%
Europe	63.2%
North America	10.6%
Oceania	4.0%
South America	0.4%
Other Assets and Liabilities—Net	2.7%

**This table reflects the Fund's investments, including short-term investments, derivatives and other assets and liabilities.**

### <ご参考> Vanguard 500 Index Fund

※Vanguard Inc.作成のANNUAL REPORTを基に、TORANOTEC投信投資顧問（株）が作成しています。

【1口当たりの純資産価額の推移】（2024年12月31日～2025年12月31日）  
 (米ドル)



※1口当たりの純資産価額は分配金調整後の価額です。

【費用比率】

(2025年1月1日～2025年12月31日)

項目	比率 (%)
エクスペンスレシオ	0.03

(注) エクスペンスレシオは、当期中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

Portfolio Composition % of Net Assets (as of December 31, 2025)	
Communication Services	10.6%
Consumer Discretionary	10.4%
Consumer Staples	4.7%
Energy	2.8%
Financials	13.2%
Health Care	9.6%
Industrials	8.2%
Information Technology	34.4%
Materials	1.8%
Real Estate	1.8%
Utilities	2.3%
Other Assets and Liabilities—Net	0.2%

**This table reflects the Fund's investments, including short-term investments, derivatives and other assets and liabilities.**

TORANOTEC  

---

ASSET MANAGEMENT